

令和5年度

# 校長室だより2月号 No.10

宝達志水町立押水第一小学校 R6.2.1

## 令和6年能登半島地震から1ヶ月

本年1月1日の「令和6年能登半島地震」から1ヶ月が過ぎました。

幸いにして押水第一小学校を含む町内6つの小中学校は、当初の予定通り1月9日に3学期の始業式を迎えることができ、子どもたちは毎日元気に登校してくれています。これも保護者・地域の皆様のご支援・サポートのおかげと存じております。誠にありがとうございます。

さて「令和6年能登半島地震」に関して、僭越ながら、校長自身が体験したことを書かせていただきます。私の住まいは七尾市和倉町ですが、地震のあった1月1日の16時10分は、田鶴浜の妻の実家におりました。田鶴浜は七尾の中でも揺れが激しかった地区で、妻の実家は倒壊を免れましたが、大きな揺れが収まって外に出ると、何軒もの家が倒壊しておりました。大津波警報が発表されていたので、そのまま高台の避難所に避難して一晩過ごし、翌日、和倉の自宅と七尾市内の実家の様子を見に行くとどちらも大きく損壊しており、茫然として何も考えられなくなりました。今は、和倉の自宅に戻り、地震で散乱した屋内を片付け、損壊した家屋をこれからどうしていくか考えながら過ごしています。

今、思っていることは、日常はいとも簡単に破られるということです。そしてその日常は当たり前存在するものでなく、多くの人たちの日々の努力によって守られてきた非常に貴重なものであるということに身に染みて感じています。地震発災以後、その貴重な日常を取り戻そうと、日本全国から復旧の関係者が集まっています。私は、のと里山海道を使って通勤していますが、まだ薄暗いその道を、多くの救急隊車両や警察車両あるいは自衛隊車両や復旧の工事車両などとすれ違います。私の住まいがある七尾はいまだ断水状態が続き、いつ復旧できるのか見通しが持てない状況ですが、それでも1日でも早く住民が日常生活に戻れるよう多くの方が尽力してくださっています。

子どもたちに是非わかってもらいたいと願うことは、私たちの身の回りにある当たり前もすべて同じように、多くの人たちが一生懸命努力してくださっているおかげで存在しているということです。暖かい家、美味しい食事、お風呂、洗濯……。多くの当たりの向こうに、目には見えないけれどたくさんの人たちの努力があることを改めて私自身思い知らされています。そして、それに感謝できる人間でなければと思う次第です。

「つよく 正しく 美しく」

復興に携わってくださっている方々の力強く美しい姿と、この押水第一小学校で掲げられてきた校訓が重なって感じます。閉校まであと1年あまりとなりましたが、子どもたちには、この校訓をこれからも是非大切にしていってほしいと願うばかりです。



# 保護者アンケート結果

	質問項目		R5後期				R5前期	増減	
			A	B	C	D	A+B		
お子様の様子	1 お子様は、学校へ行くのが楽しいと言っていますか。	人数	32	23	0	0	55	56	↑
		%	58.2	41.8	0.0	0.0	100.0	93.3	
	2 お子様は、学校の授業がわかりやすいと言っていますか。	人数	26	22	6	1	48	57	↓
		%	47.3	40.0	10.9	1.8	87.3	95.0	
	3 お子様は、ご家庭や地域で、自分からあいさつをしていますか。	人数	22	24	9	0	46	52	↘
		%	40.0	43.6	16.4	0.0	83.6	86.7	
	4 お子様は、自分で計画を立てて勉強していますか。(決められた時刻で宿題をしている等)	人数	17	21	14	3	38	38	↗
		%	30.9	38.2	25.5	5.5	69.1	64.4	
	5 お子様は、家で読書をしていますか。	人数	10	13	19	13	23	30	↓
%		18.2	23.6	34.5	23.6	41.8	50.0		
6 お子様は、10時までには寝ていますか。	人数	20	17	15	3	37	47	↓	
	%	36.4	30.9	27.3	5.5	67.3	79.7		
7 お子様は、家でお手伝いをしていますか。	人数	27	18	8	2	45	50	→	
	%	49.1	32.7	14.5	3.6	81.8	83.3		
8 お子様は、地域の行事等に参加していますか。	人数	41	9	5	0	50	49.0	↑	
	%	74.5	16.4	9.1	0.0	90.9	81.7		
9 お子様は、学校や家庭でのきまりを守っていますか。	人数	18	32	3	0	50	53	↑	
	%	34.0	60.4	5.7	0.0	94.3	88.3		
家庭の様子	10 家庭では、お子様との会話を大切にしていますか。	人数	34	21	0	0	55	57	↑
		%	61.8	38.2	0.0	0.0	100.0	95.0	
	11 家庭では、お子様との間でルールを決めていますか。(家庭学習 テレビやインターネットゲーム その他)	人数	22	30	2	1	52	56	→
		%	40.0	54.5	3.6	1.8	94.5	93.3	
12 家庭では、規則正しい生活やきまりを守るようお子様に声かけをしていますか。(早寝 早起き 家庭や学校でのルール等)	人数	39	14	2	0	53	60	↘	
	%	70.9	25.5	3.6	0.0	96.4	100.0		
13 家庭では、PTA活動を理解し、様々な行事に参加していますか。	人数	34	17	4	0	51	56	→	
	%	61.8	30.9	7.3	0.0	92.7	93.3		
学校の様子	14 学校は、学校の教育方針や活動、子どもたちの様子等をわかりやすく保護者に伝えていきますか。(校長室だより 学級だより HP)	人数	36	16	3	0	52	57	→
		%	65.5	29.1	5.5	0.0	94.5	95.0	
	15 学校は、保護者の意見を聞き、保護者と連携・協力した学校づくりに努めていますか。(保護者アンケート)	人数	32	18	4	1	50	55	→
		%	58.2	32.7	7.3	1.8	90.9	91.7	
	16 学校は、子どもたちの安全に対する取組や対応が取られていると思いますか。(集団下校 不審者対応 避難訓練)	人数	41	12	2	0	53	60	↘
		%	74.5	21.8	3.6	0.0	96.4	100.0	
	17 学校は、子どもたちが豊かな心を育むための教育活動を推進していると思いますか。(PTA活動 学級園 等)	人数	35	18	2	0	53	57	→
		%	63.6	32.7	3.6	0.0	96.4	95.0	
	18 学校は、地域の行事への活動の参加を家庭や地域に呼びかけていると思いますか。(PTA活動 地域の活動 等)	人数	35	17	3	0	52	58	→
%		63.6	30.9	5.5	0.0	94.5	96.7		
19 学校は、いろいろな事を相談しやすいですか。	人数	30	19	4	2	49	55	→	
	%	54.5	34.5	7.3	3.6	89.1	91.7		
20 学校は、保護者の相談や要望に適切に対応していますか。	人数	31	20	3	1	51	53	↗	
	%	56.4	36.4	5.5	1.8	92.7	88.3		
21 学校は、健やかな児童の育成のために一生懸命頑張っていますか。	人数	40	11	4	0	51	58	↘	
	%	72.7	20.0	7.3	0.0	92.7	96.7		

※ 表中の A ~ D については、以下の通りです。

A : あてはまる B : どちらかといえばあてはまる C : どちらかといえばあてはまらない D : あてはまらない

※ 矢印は、肯定的回答 (A+B) の増減を表しています。

 5ポイント以上 上昇     
  3~5ポイント上昇     
  同程度  
 5ポイント以上 下降     
  3~5ポイント下降

<お子様の様子について>

質問項目1「学校へ行くのが楽しい」では、すべての保護者の方から肯定的回答を寄せていただきました。ありがとうございます。ただ、後に紹介する児童アンケートでは、同様の質問に対して、楽しくない・どちらかといえば楽しくないと回答した児童が1割程度いました。3学期はスクールカウンセラーの先生の協力も仰いで、全児童に対して個別面談も実施しているところです。普段の学校生活だけではうかがい知れない児童の心の動きや気持ちにも思いをはせ、児童においても100%の肯定的回答が得られるよう努めていきたいと思ひます。また、質問項目9「学校や家庭でのきまりを守っている」でも肯定的回答の割合が増えました。きまりを守ることの意義やきまりを守らないことで生じる弊害などについて、今後も折に触れて訴え、あたり前にきまりを守っていく心を引き続き育んでいきたいです。

気になるのは質問項目2「学校の授業がわかりやすい」で、肯定的回答の児童の割合が5ポイント以上減じたことです。本校では今年度、研究テーマを「対話を通して、問題解決できる児童の育成」として、授業改善に取り組んできました。児童が自分の考えをもって友達と対話し、自分たちで問題解決していくスタイルの授業が多くなり、教師が明確に問題解決の道筋を示していたこれまでのスタイルの授業と比べて児童の負担が増大したことも影響しているのではないかと分析しています。アンケート結果を踏まえ、改善すべきところを修正しながら、児童が対話を通して問題解決していけるわかりやすい授業を目指していきたいです。

<家庭の様子、学校の様子について>

家庭の様子につきましては、4つの質問項目とも肯定的回答が、前期同様に9割以上となりました。中でも質問項目10「お子様との会話」では、100%の肯定的回答をいただきました。誠にありがとうございます。また学校の様子につきましても、8つの質問中、ほぼすべての項目で、肯定的回答が9割前後となりました。今後も保護者の方々に適切に情報発信しながら、連携・協力した学校運営を心掛けていきたいです。

## 児童アンケート結果

	質問項目		R5後期					R5前期	増減	
			A	B	C	D	A+B	A+B		
生徒指導 他	1	学校へ行くのは楽しい。	人数	31	19	3	4	50	57	↓
			%	54.4	33.3	5.3	7.0	87.7	96.6	
	2	自分には、よいところがあると思う。	人数	24	26	5	2	50	58	↓
			%	42.1	45.6	8.8	3.5	87.7	98.3	
	3	自分の役割に責任をもち、仕事をがんばっている。(委員会 係活動 そうじ 給食当番)	人数	40	14	3	0	54	58	↘
			%	70.2	24.6	5.3	0.0	94.7	98.3	
	4	自分の目標に向かって、努力している。(夢の木 目標やめあて)	人数	39	15	3	0	54	59	↓
			%	68.4	26.3	5.3	0.0	94.7	100.0	
	5	友だちとなかよくしたり、助け合ったりしている。	人数	36	13	1	0	49	51	→
			%	72.0	26.0	2.0	0.0	98.0	96.2	
	6	友だちにいやなことをしたり、いじめたりしていない。	人数	41	10	4	2	51	56	↓
			%	71.9	17.5	7.0	3.5	89.5	94.9	
	7	地域や家庭、学校であいさつができています。	人数	40	11	5	1	51	57	↓
			%	70.2	19.3	8.8	1.8	89.5	96.6	
	8	学校のきまりを守っている。(廊下を走らない。給食は、静かに食べる等)	人数	26	25	6	0	51	52	→
			%	45.6	43.9	10.5	0.0	89.5	88.1	

学力向上・学校研究	9	チャイムと同時に号令・ベル学・ふり返りができている。	人数	18	30	7	2	48	55	↓
			%	31.6	52.6	12.3	3.5	84.2	93.2	
	10	話すルールができている。 ・友だちに向かって位置を変えて話す。	人数	37	19	1	0	56	57	→
			%	64.9	33.3	1.8	0.0	98.2	96.6	
	11	聞くルールができている。 ・友だちの話を体を向けて最後まで聞く。	人数	34	21	1	1	55	54	↗
			%	59.6	36.8	1.8	1.8	96.5	91.5	
12	授業では、友だちや先生と課題をつくれるようになってきた。	人数	29	23	1	4	52	58	↓	
		%	50.9	40.4	1.8	7.0	91.2	100.0		
13	自分の考えをノートに書いたりまとめたりすることができるようになった。	人数	33	17	4	1	50	40	↗	
		%	60.0	30.9	7.3	1.8	90.9	87.0		
14	朝学習やドリルタイムでの活用問題が、解けるようになった。	人数	24	23	5	3	47	51	↓	
		%	43.6	41.8	9.1	5.5	85.5	91.1		
授業	15	授業は分かりやすい。	人数	36	14	5	2	50	58	↓
			%	63.2	24.6	8.8	3.5	87.7	98.3	
	16	先生は、分からないことがあると、ていねいに教えてくれる。	人数	42	7	5	3	49	57	↓
			%	73.7	12.3	8.8	5.3	86.0	96.6	
	17	先生は、ほめたり、はげましたりしてくれる。	人数	44	6	5	2	50	57	↓
			%	77.2	10.5	8.8	3.5	87.7	96.6	
家庭学習	18	学習したことが、よく分かるようになるための自学ノートを書いている。	人数	28	18	7	2	46	40	↘
			%	50.9	32.7	12.7	3.6	83.6	87.0	
19	時間を決めて計画的に家で宿題をしている。	人数	30	14	7	6	44	48	↓	
		%	52.6	24.6	12.3	10.5	77.2	82.8		
表現力	20	授業や行事で自分のまとめたことや練習したことを発表できた。	人数	30	23	3	1	53	56	→
			%	52.6	40.4	5.3	1.8	93.0	94.9	

#### <生徒指導 他について>

生徒指導の質問項目に限らず、児童アンケートでは全体に肯定的回答が減じた結果となりました。赤色の下矢印は5ポイント以上の減少を示していますが、本校の全校児童は60人ですので、赤の下矢印の項目では、4人以上の児童が肯定的回答から否定的な回答に転じたこととなります。

生徒指導では、質問項目2「自分にはよいところがある」の割合が減っているのが特に気になります。私は赴任して以来、押水第一小学校の児童は大変素直で、何事においても粘り強く一步一步努力していくことができるとも素晴らしい資質に満ちていると感じてきました。「できた」か「できない」かの二元論で結果のみに注目して一喜一憂するのではなく、活動の中で自分がどのように頑張ったか、自分はどの成長することができたのか、その活動の過程も児童自身がしっかりと見つめていけるような取組になるよう今一度心がけていきたいです。

#### <学力向上・学校研究、授業、家庭学習、表現力について>

保護者アンケート結果でも記載しましたが、本校では今年度、研究テーマに沿って、教師が明確に問題解決の道筋を示していくこれまでの授業スタイルから、児童が自分の考えをもって友達と対話し、自分たちで問題解決していく授業スタイルを多く導入してきました。これによって児童の負担が増大したことも影響しているのではないかと分析しておりますが、「自分の考えをもつ」「仲間と対話しながら協力して問題解決していく」等の力は、これからの社会でますます必要となってくるものと考えます。授業における児童の困り感に寄り添いながらしっかりと支援し、児童が自分の考えをもって仲間と協力しながら学びを深めていくわかりやすい授業の実現に努めていきたいです。

学校評価アンケートへのご回答、誠にありがとうございました。今年度も残りあとわずかとなりましたが、皆様からのご意見等を踏まえ、今後の活動・取組に活かして参ります。  
これからも押水第一小学校の教育活動にご支援ご協力の程よろしく願いいたします。